



第198回 防災まちづくり談義の会

能登半島地震を踏まえた 地盤の問題と耐震化推進



現地会場 参加+ZOOM オンライン参加 併用 (会員以外は要申込下記参照)
(談義オンライン入室 14:50~)

2024年7月19日(金) ① 定例会 13:30~14:45 (意見交換)
② 防災まちづくり談義の会 15:00~16:45 (講演・質疑応答)
会場: 横浜市青少年育成センター第一研修室他 (関内ホール 地下2階)
住所: 〒: 横浜市中区住吉町4-42-1

講演会趣旨 能登半島地震では、M7.6の地震が国家的には想定できなかったこと、地域の耐震化率の低さ、同じ耐震性でも地盤により数十メートルの距離でも被害に差異があることなどの課題が再認識されました。現地調査に4回にわたって赴かれた荏本孝久名誉塾長、熊本地震現地調査や、耐震診断、耐震設計に取り組みられてきた一級建築士河原典子氏から、「今後の耐震化推進について」の分析と提案をお話しいたします。(塾長)

[1] 能登半島地震現地調査で得られた地盤の問題と神奈川の地盤リスク



講師: 荏本孝久

プロフィール

神奈川大学名誉教授・工学博士。専門は地震工学・地盤工学、特に地盤震動特性によるマイクロゾーニングの研究

講演要旨 能登半島地震(Mw7.6)は、震源断層は浅く極めて強い地震動を受け人的・物的被害が発生しました。平低地では砂丘の背面や低地の砂地盤で液状化現象が顕著に発生して建物被害を助長していました。一方、神奈川県では液状化ではなく地盤増幅現象によるリスクが高くなる地域が広く存在します。能登半島地震の現地調査に基づき、自分の住んでいる場所・地域の災害に関する環境を理解し、災害対策を考える重要性についてお話しします。

[2] 命を守る住まいの耐震性能とは、なぜ耐震診断・耐震改修工事が必要?コストは?



講師: 河原典子

プロフィール:

Kappa 研築工房 河原一級建築士事務所主宰、一般社団法人 神奈川県建築士会 防災・災害対策委員会 副委員長 一級建築士、東京都木造住宅耐震診断技術者他

講演要旨 この17年間、木造住宅の耐震診断700件以上、耐震補強設計100件以上実施いたしました。昭和56(1981)年以前のみならず、平成12(2000)年以前に新築された住宅は、残念ながら耐震性能が低く、大地震に対して倒壊する可能性が高い現状があります。なかなか理解されにくい応急危険度判定、耐震診断、耐震設計、耐震化推進についての現実と展望、実務者からの提案について、わかりやすくお話しさせていただきます。

主催 「防災塾・だるま」(ホームページ) <http://darumajin.sakura.ne.jp>

参加方法 ★本会会員・受講料無料

★会員以外の方の申込フォーム <https://daruma198.peatix.com/view>

「本講座は無料です」上記のPeatixサイトからお申し込みをお願いします。

Zoom 情報が自動的に送付されます ※詳細はHPをご参照ください。



県民サポートセンター
アクセスQRコード

次回: 第199回「防災まちづくり談義の会」

テーマ: 「防災は福祉である」(仮題)

講師: 駒澤大学教授 川上富雄氏

日時: 2024年9月19日(木) 14:30~16:30 (予定)

会場: かながわ県民活動サポートセンター11階 講義室

編集 田中喜世美